

ぽけっと

2018年6月号 NO. 258

6月1日発行



今月のトピックス

地域の歴史に親しむ講座

『津島駅120年の歴史』



●日時 6月17日(日) 午後2時より

●場所 津島市立図書館 2階大集会室

●講師 田中義人氏(元名鉄資料館長)

※ 事前申し込み不要・無料

津島の玄関口として多くの人やモノが行き交う津島駅。今年はその津島駅が建設されてから120年の節目を迎えます。今回、元名鉄資料館長の講師が、同資料館と津島市立図書館に保管されている資料をもとに、尾西鉄道の開設・名古屋鉄道との統合・戦時の見送り・伊勢湾台風の被害・特急・高架化など、津島駅舎に関するさまざまな話題を紹介します。

豊富な写真や資料とともに、駅を中心とした津島の歴史を振り返りましょう。



本のリサイクルのお知らせ

6月9日(土)より、図書館で使われなくなった本のリサイクルを行います。ぜひご利用ください。

※お一人様5点まで。なくなり次第終了となります。

梅の季節

6月6日は梅の日です。室町時代の天文14年4月17日(新暦1545年6月6日)、京都・賀茂神社の例祭・葵祭で後奈良天皇が神事をされた際に梅が献上されたという故事にちなみ、和歌山県田辺市の紀州田辺うめ振興協議会(紀州梅の会)によって制定されました。

旬の梅を使って、梅干しや梅ジュースなどを手作りしてみませんか。

●『ウメハンドブック』 大坪 孝之/著 文一総合出版 479.7 才

●『育てて楽しむウメ百科』 三輪 正幸/著 家の光協会 625.5 ミ

●『やっぱり梅は効く』 松本 紘斉/著 主婦の友社 498.5 マ

●『はじめての梅しごと手帖』 若山 曜子/著 家の光協会 596.3 ワ

●『はじめてでもおいしくできる梅干し・梅レシピの基本』 朝日新聞出版 596.3 ハ

●『いちばんやさしい梅干し・梅酒・梅レシピ』 鈴木 伸一郎/著 成美堂出版 596.3 ス



新 着 図 書

『太陽の塔』 平野暁臣／編著 小学館クリエイティブ 606.9ヒ



1970年に開催された大阪万博のテーマ館のシンボルとして建造された太陽の塔。半世紀の時を経て、今年3月に恒久的なミュージアムへと生まれ変わり内部が公開されました。本書は、豊富なヴィジュアル資料と新たに発掘された秘蔵史料とともに、太陽の塔の制作状況から現在までの記録が収録されています。太陽の塔とは何か？岡本太郎はどんな思想を込めて作ったのか？建築家・小説家・文芸評論家の論考を加え、多面的な角度から太陽の塔を読み解くヒントも記されています。

「太陽の塔の貴重なドキュメントを後世に伝えたい」。岡本太郎記念館の館長であり、今回の【太陽の塔再生プロジェクト】を指揮した著者の強い思いが伝わる一冊です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『津島短編小説コンテスト』 ← 「津島」をテーマにした短編小説。応募された94篇から、受賞作品を収録。
- 『玄鳥さりて』 葉室麟/著 ← 藩政に翻弄されながらも剣を通じて結ばれた男と男の絆を描く傑作時代長編。
- 『ニッポン全国和菓子の食べある記』 畑主税/著 ← 高島屋の和菓子バイヤーが太鼓判を押す和菓子を紹介。
- 『ハッチとマーロウ』 青山七恵/著 ← 「ママは大人を卒業します！」と宣言された双子の葛藤と自我を描く。
- 『国境なき医師団』を見に行く』 いたうせいこう/著 ← 難民キャンプやスラム街などを訪れた現場ルポ。
- 『魔力の胎動』 東野圭吾/著 ← 5月に映画化された著者のミステリ作品『ラプラスの魔女』の前日譚。
- 『60歳からはじめるSNS』 岡本ゆかり他/著 ← SNSをはじめてみたい超初心者向けのやさしい解説本。
- 『タンゴ・イン・ザ・ダーク』 サクラヒロ/著 ← 地下室に引きこもる妻に会いたい「僕」の奇妙な愛の物語。
- 『掃除の解剖図鑑』 ← 3種類の洗剤を使ったプロの技で時短・簡単・力いらずの掃除術をわかりやすく伝授。
- 『15歳のコーヒー屋さん』 岩野響/著 ← あえて進学しない道を選んだ発達障害を持つ若きコーヒー焙煎士。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

26日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

